

# 幻想的なメロディーを奏でるキュートな虫たち

## BEAT HOPPER

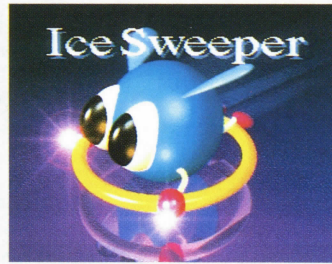


リズムに合わせて画面上を跳びまわる「ホッパー」を操作しながら、うまくパネルを踏んでいく。出現するパネルを踏み続けながらメロディーを思う存分楽しむAタイプと、画面上のパネルをすべて消すとステージクリアとなる面クリアタイプのBタイプ(全30面)があるのだ。

カラフルな花の上を跳びはねているのがホッパー。クリアを目的とせず音楽をただ楽しむのもいいかも。

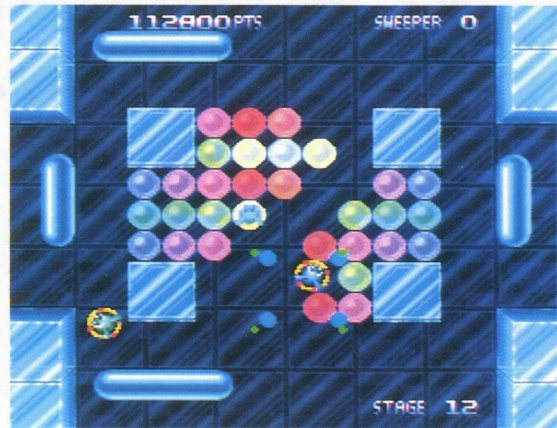


## ICE SWEEPER

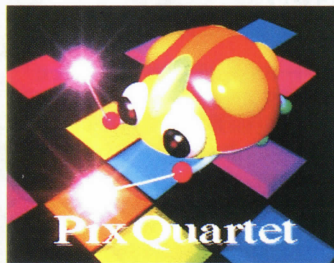


氷の上を滑る「スイーパー」を操作しながら、散らばったブロックを消していく面クリアタイプのゲーム。それぞれのブロックには、その色に応じてさまざまな音色や音階が対応している。テンポよくブロックを消していけば、キミだけのオリジナルメロディーを楽しめるのだ。

ホッパーのモデルがバタなら、スイーパーのモデルはアメーバ。音楽にのってスイーパーとね。



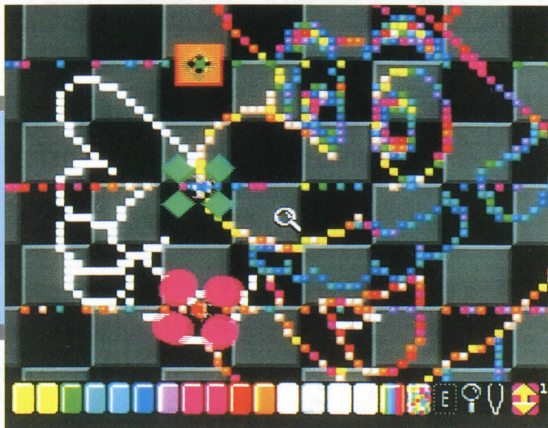
## ピックスカルテット



このモードでは、『マリオペイント』のように自由に絵を描くことができる。そして描かれた絵に応じて多彩なメロディーが奏でられるのだ。つまり描かれた絵が、楽譜の代わりになるわけ。違った絵を描けば違ったメロディーが鳴るし、同じ絵でも色を変えると音の感じが変わる。

演奏を担当するのは4匹の虫たち。それぞれリズム担当、ベースライン担当、というふうに役割が決まられていて、指示を出すとバンド演奏よろしくメロディーを奏でくれるってわけ。虫たちは担当ごとに4匹のなかから選択できるから、多彩な演奏を楽しむことができるのだ。

がんばればマリオの絵でマリオの曲を演奏、なんてこともできちゃう。この絵はデモとして入っているぞ。



自分で絵を描くのが面倒、なんて人のために20種類のデモ画面が用意されているぞ。



かわいらしい16匹の虫たち。デザインしたのは「ウゴルーガ」のキャラクターを手掛けた岩井俊雄氏だ。

## 開発状況

斬新なシステムがふんだんに盛り込まれているゲームです。どうぞご期待ください。  
任天堂 本郷